

1 F

「圧迫感のない安心感」と「アートが引き立つ」を大切にしたい待合空間

- 患者さんに優しく安心できるような全体の色調はナチュラルなカラーとした上で、アクセントカラーの範囲を絞る事でアートをより際立たせ、すっきりとした印象の空間とする。

■「やすらぐ待合」の完成イメージ



3 F

「ほっとできるカフェのような雰囲気」と「植物や自然を感じやすい配色」を大切にしたいブレイクスペース

- スタッフが気分転換しやすい全体はカフェのような雰囲気とし、自然の植物やプロジェクターでの風景・自然のBGMを感じやすいよう壁や柱はモノトーンな落ち着いた配色とする。

■新しい可能性につながる「切り替わるブレイクスペース」の完成イメージ



耳原鳳クリニック 建設進捗状況

2025年4月から新クリニックでの診療開始予定

11月17日 鳳工事見学会

2023年12月から耳原鳳クリニックの建て替え工事がスタートしました。建設委員会では設計前の段階から、毎月友の会会員の方にもご参加頂き、会議を重ねてきました。築40年越えの現鳳クリニック

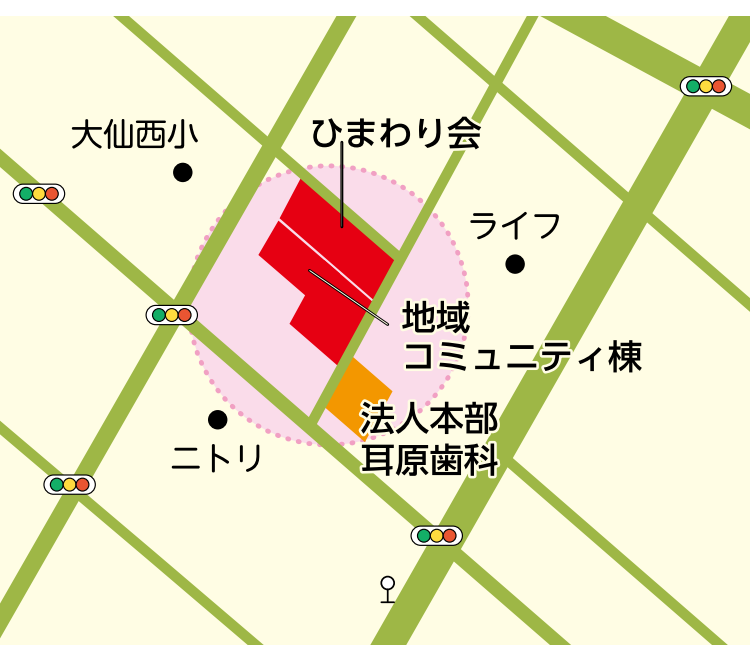
敷地内の駐車場に新クリニックを建て替え中で、2024年11月末現在、3階建ての建物が出来上がっています。エレベーターも稼働し、これから内装工事が本格化します。デザイン性のあるオープンな天井、壁、階段、照明などが整備され、アートも導入される予定です。

11月17日には見学会を行いました。120人の方が参加されました。工事途中ではありますが、間取りや実際のスペースを見ることで、わくわくする気持ちが沸き上がってきました。工事にあつかわった作業員は、なんと約7000人にも達したそうです。この夏は今までに経験したことのない猛暑でした。そのような大変な状況の中、建設業者の方を始め、警備、建設

に携わった多くの方々にご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。また、建設資金のご寄付、協同基金にご協力していただいた方々、友の会会員の方にも感謝申し上げます。3月末に引越後、4月から新クリニックでの診療開始予定です。引越後は、駐車場整備工事が引き続き行われます。ご不便・ご迷惑をおかけしますが、2026年完成までもうしばらくお待ちください。



本年4月より、大仙西エリアにある社会医療法人同仁会の本部・歯科診療所、加えて新築している社会福祉法人ひまわり会、地域コミュニティ棟を含め「みみはらコミュニティタウン」としてオープンいたします。みみはらグループと地域住民とのお付き合いの多くは「医療介護が必要になってから」始まりです。一方で「医療介護のことで将来が不安、医療介護につながっていない人がいる」など、友の会の世話人さんや地域から不安や潜在するニーズをお聞きすることがあります。また不安や心配だけではなく「こんな街であってほしい、こんな場所がほしい」など、ゆるくつながれる出合いの場所、楽しく毎日を過ごしたいというニーズもあります。これらの地域の皆さんからの声を踏まえ、地域包括ケア事業を実現するため、住宅型有料老人ホームに加え、オープンするコミュニティスペースをどうリンクさせていくか。すでに持っている同仁会の機能、地域力、友の会活動と協働するスタンスで、約2年かかるといって議論を重ねました。そこで「コミュニティ棟



「みみっば」の目指すもの

- であう** 気兼ねなくふらっと寄れる場所、来なくなる場所
- まなぶ** 学びや趣味の充実、関わりを持てる場
- つなぐ** 困りごとの相談、問題の解決につながるハブに
- ひろめる** 企画を持ちより、みんなで作り上げるスペース

堺区大仙西新エリア 建設進捗状況

社会福祉法人ひまわり会 住宅型有料老人ホーム

ふれあいガーデン

介護事業所	4階	
デイケア/研修室	事務所	3階
多目的室、小上がりキッチン	アートリンクセンター	2階
コミュニティスペース 喫茶コーナー	1階	

地域コミュニティ棟

4月より始動！
みみはらコミュニティタウン

堺区と西区で建て替え工事が進行中